

る費用のシミュレーションを提供している。単に授業料の提示だけでは無く、実際の在学・修了生の履修計画、奨学金・授業料減免、教育訓練給付制度等の現状をまとめて、経済負担の推定を支援している。

- 《修学年限通算(早期修了)制度》
(再掲)

3.3.3 〈学習成果の評価〉

- 《修得知識の確認》
授業科目の履修によって修得できる知識単位及びレベルが明確に設定されている。当教育プログラムの知識体系・知識単位は経済産業省のCCSF(共通キャリア・スキルフレーム)の3段階約120の知識単位を基準にして、大学院のレベルに相当するレベル2(概ね経験年数4-5年)からレベル4(概ね経験年数10年)に設定してある。学生は、オーダーメイドの履修計画を作成する段階、実際の授業科目の履修の段階等、当教育プログラムが提供する知識体系の中で、各自が修得する必要がある知識単位がどの程度修得できているかという達成度を常時確認することができる。
- 《ディプロマサプリメント・エキスパート制度》
修了時には、個々の学生が取得した学位・資格の学修内容を証明するディプロマサプリメントを発行する。本学のディプロマサプリメントは、欧州委員会・欧州評議会・ユネスコ等が開発したディプロマサプリメントに準拠したもので、修了生が自らの知識・スキルを公平・透明に証明でき、就職・転職活動あるいはキャリアアップに活かすことができる。また、修得した科目及び成績評価から算出された達成度が特に優れた学生には「最上級(Superior)」、優れた学生には「上級(Advanced)」として表彰する。これらの仕組みによって、学生自らの高い達成度への目標設定と、学生間の競争が生じることを期待している。
- 《ラーニングフェロー制度》
継続的に学ぶ動機付け・キャリア開発支援等を目的に、技術者の修学の実績(正規授業、勉強会、書籍・記事の執筆等)を記録・カウントし、表彰する。この仕組みは、本学を中核とする専門職コミュニティの量から質への転換の試みでもある。

3.3.4 〈女性等〉

- 《託児所》
育児中の学生の修学を支援するため、託児所を設置することの検討を進めている。
- 《特別入試等》

当教育プログラムで養成するイノベーション及びマネジメント人材が活動する分野では、結婚・出産・育児等により一時的にキャリアを中断した女性や、それを支援する男性の活躍が期待できる。当教育プログラムではこれらの人材を対象とした特別入試の検討を進めている。

3.3.5 <ほか>

- 《社会人のための教育手法》
社会経験・職業経験を有した社会人学生を対象にした成人教育理論に従って授業及び教材の設計を行う等、社会人のための教育手法を積極的に活用している。
- 《専門職コミュニティ・授業外の勉強会・懇親会》
本学の学生、及び広く一般の技術者・経営者が、一流の経営者・技術者と直に接し、学ぶ機会として、授業外の勉強会・懇親会を年20回程度開催している。これらは外部に開かれた勉強会で、誰でも参加できるので、本学の関係者以外の技術者・経営者も多数参加している。これらは在学生・修了生・教員・学外の技術者間の本学を中核とした専門職コミュニティを構成し、情報交換及び交流の機会としても機能している。平成25年度28回開催し、延べ1,721名の参加があった。特に、昨年度からクラウド利用促進機構(CUPA)と連携して開催しているJTF(July Tech Festa)は昨年度308名、今年度470名の参加があり、iOSコンソーシアムと連携して開催しているiOSED(iOS Enterprise & Developers Conference)は昨年度241名の参加者があった。また、本学附属の図書館は、東京都及び京浜地区等の企業で働く技術者にも広く開放され、本学で開催されている各種のイベントとの相乗効果から、現在では本学を中核として専門職コミュニティが構成され、「知の連携」が実現できる空間として機能している。
- 《図書館・演習室等》
図書館は、社会人学生の活用を考慮し、平日は授業終了の21:40以降の23時まで、土曜は授業終了の18時以降の19時まで開館している。演習室等は平日22時まで、土曜19時まで利用でき、また時間外利用届けを提出すれば、PBL活動等の授業に準じる目的であれば、平日・土曜・日曜・祝祭日でも23時まで利用できる。
- 《キャリア開発支援》
社会人学生を対象としたキャリア開発として、AIITキャリアクラブが(公財)東京都中小企業振興公社 TOKYO 起業塾、AIIT 社長会等と連携し、起業・就職等のキャリア開発支援を行う。
- 《説明会》
本学及び当教育プログラムの説明会を月2回程度の頻度で開催する。説明会は、学び直し

啓発及び個別相談、教育プログラムの内容の確認、修了生の講演会、体験授業、在校生・教員等からの情報提供、施設見学等から構成される。また、Ustream 等の動画配信及び Twitter・Facebook 等のソーシャルメディア等を活用したオンラインでの大学院説明会・学び直し啓発・個別相談も行う。

- 《授業科目の繰り返し開講》
重点授業科目の一部は、社会人学生及び 10 月入学生の履修、及び再履修の自由度を高めるため、長期休暇期間等を活用し、同一年度に複数回開講する。
- 《既単位取得授業科目の再履修》
既に単位を取得した授業科目であっても、成績及び理解度を高めたい学生は、再履修することができる。
- 《社会人特別入試・企業推薦入試》
社会人を対象とした社会人特別入試及び企業推薦入試を行う。

3.4 社会人のキャリアアップの仕組み

社会人のキャリアアップ・キャリアチェンジの仕組みの仕組みとして、当事業の社会人学び直し推進委員会(協議の場)で、産学連携による学修成果の記録・評価制度の開発・活用・評価等を議論しているが、本学運営諮問会議でも「教育成果の可視化に係る本学の取組みに対する産業界の評価」という諮問がなされ(平成 26 年 7 月 15 日)、本学での以下の取り組み等に関して議論が行われている。学生・技術者の学修成果を客観的に記録・評価できる仕組みを産業界と連携して構築していくことによって、産業界でも修了生の活用・評価が適切に行われ、修了生のキャリアアップ・キャリアチェンジが実現されることが期待できる。

3.4.1 学習成果の記録・評価の取り組み

本学情報アーキテクチャ専攻では、修得知識体系を大分類 10 項目、中分類 24 項目、小分類約 120 項目から構成している。この分類には情報アーキテクチャ専攻の対象領域での現段階の標準指標に相当する、(独)情報処理推進機構(IPA)の共通キャリア・スキルフレームワーク(CCSF)を使っている。

知識単位は授業科目の履修によって修得できる。授業科目ごとに単位取得によって修得できる知識単位(小分類)及びレベルを設定し、シラバスの「目的・狙い」の項目に修得できる知識単位及びレベルが書かれている。

修得できる知識単位:

- (A1)K-01-01-03 情報に関する理論(レベル 3) 計算量
- (A1)K-01-02-01 データ構造(レベル 4) スタックとキュー、リスト、配列、木構造、2 分木
- (A1)K-01-02-02 アルゴリズム(レベル 4) 整列、併合、探索、再帰、文字列処理、アルゴリズム設計
- (A1)K-01-02-03 プログラミング(レベル 4) プログラミング作法、プログラム構造、データ型、文法

ここに示されるレベルは以下のように設定されている。

レベル	内容
4	対象分野での知識・スキルを確立し、対象業務を行うことができる。下位レベルの育成を担当することができ、今後、対象分野の牽引に寄与する準備を行うことが期待される。 ITSS4以上
3	対象分野の知識・スキルを確立し、対象業務を行うことができる。 ITSS 3 相当
2	対象分野の知識・スキルをある程度確立している。上位レベルの指導下で対象業務を行うことができる。 ITSS 2 相当

各科目のシラバスに示されたレベルは成績評価 4(80 点)以上に相当し、成績評価 4 未満のときは以下に従って換算される。

各科目のシラバスで 設定されたレベル	科目履修による成績					
	0	1	2	3	4	5
4	0.0	0.0	2.0	3.0	4.0	4.0
3	0.0	0.0	2.0	2.5	3.0	3.0
2	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0

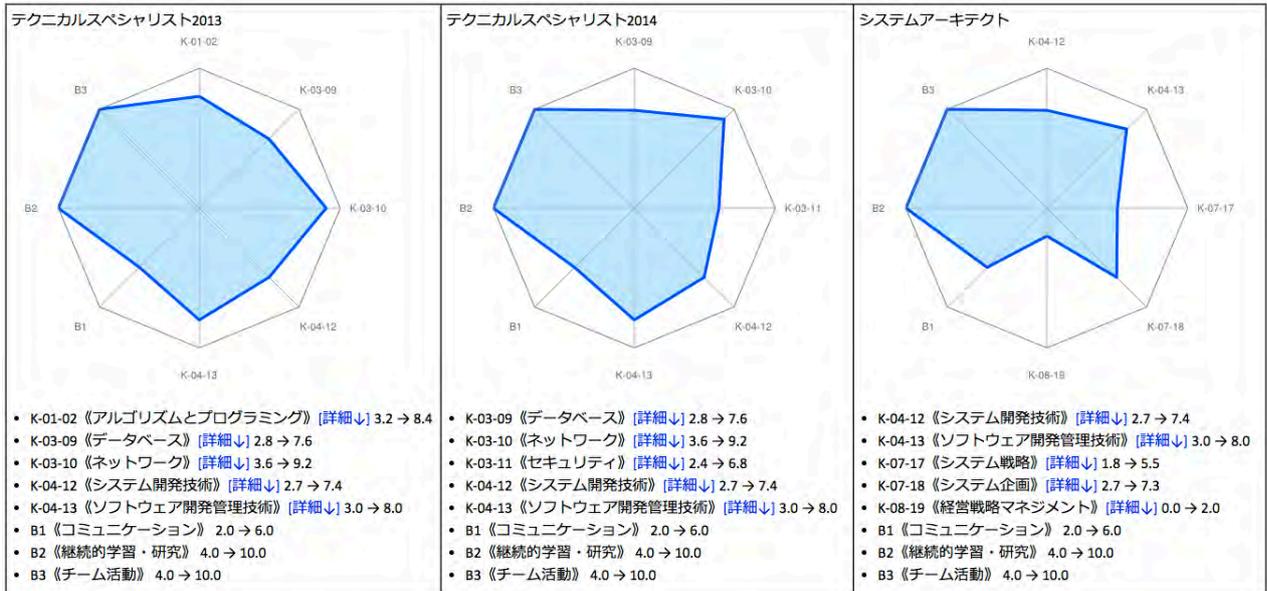
複数の科目から同じ知識単位(小分類)が修得できるが、集計時には知識単位(小分類)の最高値、中分類の知識単位の値は下位の知識単位(小分類)の値の平均値を使う。

しかし、実際には、この知識体系の約 120 存在する知識単位すべてを修得することは難しいため、情報アーキテクチャ専攻では、専門性を有する人材像(コース)ごとに中分類 5 項目及び約 15 科目

程度の推奨科目を指定し、学生に重点的に学ぶことを推奨している。「事業アーキテクト」コースでは、以下に示す中分類5項目を指定している。この5項目は概ね「事業アーキテクト」が修得すべき知識単位を示しているが、CCSF 自体は本来技術者のための標準指標であるため、若干不足している知識単位が存在する。したがって、今後、教育プログラムのカリキュラム及び各授業科目の内容の調整の段階で、独自の知識単位を設定する等の対処を行う計画である。

- K-07-17《システム戦略》
 - K-07-17-01 〈情報システム戦略〉
 - K-07-17-02 〈業務プロセス〉
 - K-07-17-03 〈ソリューションビジネス〉
 - K-07-17-04 〈システム活用促進・評価〉
- K-08-19《経営戦略マネジメント》
 - K-08-19-01 〈経営戦略手法〉
 - K-08-19-02 〈マーケティング〉
 - K-08-19-03 〈ビジネス戦略と目標・評価〉
 - K-08-19-04 〈経営管理システム〉
- K-08-21《ビジネスインダストリ》
 - K-08-21-01 〈ビジネスシステム〉
 - K-08-21-02 〈エンジニアリングシステム〉
 - K-08-21-03 〈e-ビジネス〉
 - K-08-21-04 〈民生機器〉
 - K-08-21-05 〈産業機器〉
- K-09-22《企業活動》
 - K-09-22-01 〈経営・組織論〉
 - K-09-22-02 〈OR・IE〉
 - K-09-22-03 〈会計・財務〉
- K-10-24《ビジネス知識》
 - K-10-24-01 〈顧客のビジネス知識〉

学生の到達度は、履修科目から専用の Web アプリケーションで随時に確認できる。以下に、Web アプリケーション (<http://03gekka.appspot.com/>) の画面例 (抜粋) を示す。各知識単位 (中分類) の最高値は 4、最低値は 0 であるが、グラフではこれらを最高値 10、最低値 2 に変換して描画している。



(詳細)

*が付いた行をクリックすると詳細《知識単位(中分類)》→《知識単位(小分類)》→これらが修得できる「科目」一覧を表示します。

- K-01-01 《基礎理論》 * 平均修得レベル: 0.6
- K-01-02 《アルゴリズムとプログラミング》 * 平均修得レベル: 3.2
 - K-01-02-01 《データ構造》 * 最高修得レベル 4.0 → [この知識単位が修得できる「科目」一覧]

スタックとキュー, リスト, 配列, 木構造, 2分木等

- [A1060 システムプログラミング特論] 修得レベル4.0/4.0 → [この科目で修得できる《知識単位》一覧]
 - K-01-02-02 《アルゴリズム》 * 最高修得レベル 4.0 → [この知識単位が修得できる「科目」一覧]
 - K-01-02-03 《プログラミング》 * 最高修得レベル 4.0 → [この知識単位が修得できる「科目」一覧]
 - K-01-02-04 《プログラム言語》 * 最高修得レベル 4.0 → [この知識単位が修得できる「科目」一覧]
 - K-01-02-05 《その他の言語》 最高修得レベル 0.0 → [この知識単位が修得できる「科目」一覧]
- K-02-03 《コンピュータ構成要素》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-02-04 《システム構成要素》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-02-05 《ソフトウェア》 * 平均修得レベル: 4.0
- K-02-06 《ハードウェア》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-03-07 《ヒューマンインタフェース》 * 平均修得レベル: 1.0
- K-03-08 《マルチメディア》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-03-09 《データベース》 * 平均修得レベル: 2.8
- K-03-10 《ネットワーク》 * 平均修得レベル: 3.6
- K-03-11 《セキュリティ》 * 平均修得レベル: 2.4
- K-04-12 《システム開発技術》 * 平均修得レベル: 2.7
- K-04-13 《ソフトウェア開発管理技術》 * 平均修得レベル: 3.0
- K-05-14 《プロジェクトマネジメント》 * 平均修得レベル: 4.0
- K-06-15 《サービスマネジメント》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-06-16 《システム監査》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-07-17 《システム戦略》 * 平均修得レベル: 1.8
- K-07-18 《システム企画》 * 平均修得レベル: 2.7
- K-08-19 《経営戦略マネジメント》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-08-20 《技術戦略マネジメント》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-08-21 《ビジネスインダストリ》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-09-22 《企業活動》 * 平均修得レベル: 0.0
- K-09-23 《法務》 * 平均修得レベル: 0.8
- K-10-24 《ビジネス知識》 * 平均修得レベル: 0.0

§ 3.3 の《学習成果の評価》の《修得知識の確認》、《ディプロマサプリメント・エキスパート制度》、《ラーニングフェロー制度》を参照されたし。

3.5 社会人学び直し啓発の仕組み

社会人学び直し啓発の仕組みとして、起業塾(学び直し啓発イベント、専門職コミュニティ)の企画及びWeb記事の掲載を行い、学び直しの機運醸成、学び直しの機会、環境整備に関する情報提供、

また当事業の普及等を狙う。

3.5.1 起業塾

AiIT 起業塾は、当事業に関連し、IT・デザイン・マネジメント等を活用し、各種の産業分野で、新しい事業構築・問題解決を話題に議論する勉強会で、起業経験者、〇〇×IT・デザイン・マネジメントの先駆者等のゲスト講師による講演、ディスカッションから構成する。平成 26 年度は、第 1 回の起業塾を以下のように 3/15(日)に開催した。起業塾は、平成 27 年度以降年 4 回程度継続的に開催する(第 2 回は平成 27 年 6 月頃、第 3 回は平成 27 年 8 月頃)。また、本学では、このほかに InfoTalk 等の類似のイベント(勉強会)を開催している。§ 3.3 の〈ほか〉の《専門職コミュニティ・授業外の勉強会・懇親会》を参照されたし。InfoTalk は平成 20 年から第 3 金曜に定例で開催し、平成 27 年 3 月に第 75 回を開催した。

《起業塾 #1》

- 日時: 2015/03/15(日) 14:00-18:00(懇親会 18:00-20:00)
- 場所: Hikarie カンファレンス 会議室 1105(渋谷)
- 内容: 〇〇×IT
介護、水産、農業、酪農・畜産×IT(講演、パネルディスカッション)
- スケジュール 14:00-14:10 主催者挨拶
 - 14:10-14:40 講演① 竹下 康平 氏(株式会社ビーブリッド 代表取締役)
 - 14:40-15:10 講演② 三嶋 順 氏(アンデックス株式会社 代表取締役)
 - 15:30-16:00 講演③ 岡本 信也 氏(株式会社アイティワーク 取締役)
 - 16:00-16:30 講演④ 小林 晋也 氏(株式会社ファームノート 代表取締役)
 - 16:50-18:00 パネルディスカッション(登壇者全員)
- 参加者数: 48 名(本学教職員以外)
- 今後、年 4 回程度継続的に開催する(第 2 回は平成 27 年 6 月頃、第 3 回は平成 27 年 8 月頃)。

ATND BETA イベント検索 ログイン or 無料登録

日本語 English

注目のキーワード unity アプリ swift データ HTML5 デザイン UX

AIIT起業塾 #1 — ○○とITの融合 —

Tweet 29 Like 238 +1 3 B! 2 LINEで送る

日時: 2015/03/15 (日) 14:00 to 20:00
[Googleカレンダーに追加](#)

定員: 60人

参加費: 無料

会場: Hikarie カンファレンス 会議室1105 (東京都渋谷区渋谷2-21-1)

URL: <http://www.hikarie.jp/>

管理者: InfoTalk

ハッシュタグ: #ait_startup

このイベントは終了しました

もし、転職に興味があれば…
 スカウト登録しておくこと、
 思いがけない企業から
 オファーが届くかも…
 大手・人気企業の
 オファーも多数!

今すぐ登録

参加希望者 56 / 60人

参加: 56 / キャンセル: 7

AIIT起業塾は、IT・デザイン・マネジメント等を活用し、各種の産業分野で、新しい事業構築・問題解決を話題に議論するイベントです。起業経験者、○○×IT・デザイン・マネジメントの先駆者等のゲスト講師から情報・話題を提供して

